



明石市立二見中学校
第3学年(72回生)学年通信
2019(令和元)年 7月19日
第198号

1学期の反省と2学期の課題

< 1組 >

1組の反省は、1人1人の意識が足りないということです。3分前着席の呼びかけをする人がいるのは良いことだけど、その呼びかけがあるということはまだ座れていない人がいるということでもあるので、2学期の課題は1人1人が意識して自分から行動していけるようにしていこうと思います。

< 2組 >

2組の反省は、3分前着席はできても、私語が減らず、授業中も話している時と、ダメな時の切り替えができなかった事です。そして、2学期の課題は1人1人が意識し、メリハリをつけ、授業に集中できる雰囲気を作っていくことです。そのために3分前着席を徹底させ、3分前からしっかりと、授業に向かう姿勢を作っていきます。

< 3組 >

1学期の反省は、明るい、元気という点からメリハリがつけられない時がある。うるさいなどの悪い点が出てしまっているの、2学期では気づいた人が声をかけ、クラス雰囲気をいい方向に進めたいです。

< 4組 >

4組は良かった点は、3分前着席が守れていたこと、協力しあって、自分たちの仕事に責任を持ってできていたことで、反省点は休み時間から授業へのメリハリがつけられていなかったり、次の授業の準備ができなかったことです。2学期には、2大行事があるので、それに向けて課題点を無くして、さらに良いクラスをつくっていききたいと思います。

< 5組 >

1学期の良かったところは、注意や呼びかけを積極的にできたことで、悪かったところは、3分前着席ができていなかったことと、私語が多く、けじめがつけられていなかったことです。2学期は、楽しいけど、メリハリがつけれるクラスにし、呼びかけとかを続けていけるクラスにし、呼びかけてとかを続けていけるようにしたいです。

< 6組 >

1学期は、3分前着席などのあたりまえのことをすることができませんでした。2学期は2大行事に向けてメリハリのついた学校生活をおくり、進路実現につなげていけるように頑張っていきます。

若者Box

深みのある人間になりたい

現代文の授業で中島敦の「山月記」を読んだ。主人公の李徴は自分の中の「臆病な自尊心」と「尊大な羞恥心」をコントロールできず虎になってしまったのだが、私は彼のこの気持ち痛いほど分かった。自分の才能を半ば信じているけれど、一方でその才能はたいしたものではないということも分かっているのだ。

まるで自分の心が丸裸にされたようで恥ずかしかった。また、李徴はプライドが高く人を見下すというタイプの人間だと思うが、これは自分の才能のなさを自分で認めるのが怖い気持ちの裏返しだ。

そっくり自分の姿だと気がきさらしに恥ずかしくなった。私は虎になりたくない。私は自分には才能が足りていないことを素直に認め、さまざまな職業の人や考え方の、いろいろな立場の人と触れ合いながら、よりいっそう努力しようと思う。そして、そこで出会った人たちから学び経験豊富な深みのある人間になりたい。

(高校生 神戸市灘区) 18歳

保護者のみなさまへ

8月の学年諸費の引き落としが、**8月5日(月)**になっています。夏休み中ですが、ご入金よろしくお願ひします。

○自分もそう思った。私は逆に才能がないから相手に才能の無い人と思われたくないから、自分の存在を相手より下と思って接するようにしている。たいした人間でもないのに、威張っていたら恥ずかしいから。身近にも人を見下す発言をよくするのは珍しくない。相当自分に自信があるんだと思う。だけど、そういう人ほど、周りへの視野が狭いと思う。いずれにしても自分と人を比べるのはあまりにも良くないと思う。

○自分の才能を100%信じれて、「自分はすごい！」と思える人なんて、限りなく少ないと思います。問題は才能のレベルが低高じゃなくて、自分の中にある才能を理解しているかどうかだと思いました。NIEのこの人みたいに、才能が足りていなければ素直に認め、足りていない部分を他人から吸収したりして、見下すのではなく純粋に、他人の良いところを取り入れてみたりすることで、より深みのある人間になっていけるのかなと感じます。

○本を読んで、自分の考え方を見直していることがとても良いと思いました。この人は色々な本を読んで自分を見直していると考えました。なりたいたい自分をたくさん見つけることだけでもすごいと思います。だけど、この人は本を読んで、見つけるだけでなく、本から学んだことを活かそうとしています。そうすることで、もっと成長します。この人はこれからのなりたいたい自己を実現させていくと思います。私もたくさん本を読み、面白かったと思うだけではなく、何を学べたか、これからどう活かすかなどを考え、いい人間になりたいと思います。

○僕も自分の才能を少しだけ信じているけど、あとは、それはたいしたものではない、そもそも無いのかも知れないと感じているので、筆者や「山月記」の李徴の気持ちがよく分かる。なので、自分の能力を客観的に見て、自分の現状をよく知って、それで足りない所を良くするために努力していきたいです。あとは日々の生活を、残り少ない中学校生活を失っていくのではなく、積み重ねていけるような日々をしたいと思った。

○才能だけを信じて生きていってしまうと、このようなことになると思います。自分が生まれ持っている才能だけではなく、努力することによって得たものも自分にあると思います。才能が大切な場合もあるけど、努力することでできる事も多くあると思います。僕も自分にある才能で、足りていないところは努力していこうと思いました。

○自分を認めることは難しいことだと思います。私も自分が嫌で他人をずっとうらやんでいます。自分も感情をコントロールできなくなると虎になってしまうという状況になったら、間違いなく虎になっていると思います。私も自分を認めたいです。